I-O DATA

DIGITAL Hi-VISION HDD RECORDER

HVR-HD160M

取 扱 説 明 書

149374-01

もくじ

お読みになる前に. 2

必ずお守りください. 3

はじめに. 7

特長. 8

内容物を確かめる. 9

各部の名称. 10

前面. 10

背面. 11

専用リモコン. 12

使用上のご注意. 13

使えるようにしよう. 15

モードを切り換える. 16

設置する. 17

接続する. 18

電源を入れる／切る. 19

専用リモコンを準備する. 20

最初に入っている電池を使えるようにする. 20

電池を入れ替える. 20

チューナーに登録する. 21

例：SONY DST-TX1 への登録 21

使ってみよう（ディスクモードの場合）. 23

録画する. 24

録画の仕組み. 24

例：SONY DST-TX1 での予約録画 25

再生する. 26

例：SONY DST-TX1 での再生 26

D-VHS ビデオデッキに番組をダビングする 27

D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 28

使ってみよう(D-VHS モードの場合) 29

Rec-POT メニュー 30
Rec-POT メニューを表示／切換／閉じる 30
Rec-POT メニューの種類 31
タイトルリスト 32
プログラム再生/保存/移動 34
接続機器設定 36
機器設定 38

録画する 40
録画の仕組み 40
例：SONY DST-TX1 での予約録画 40

再生する 41
番組を再生する 41
番組をプログラム再生する 42
番組再生時の操作 43

番組を保護する［ロック］ 44
ロックの仕組み 44
番組をロック／解除する 44
今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能） 45
全ての番組のロックを解除する 45

D-VHS ビデオデッキに番組をダビングする 46

D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 48
番組移動前の確認 48
本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組移動操作 49

付録 51

全ての番組を消す 52

困った時には 53

Rec-POT メニューメッセージ 55

仕様 57

索引 58
ご意見・ご質問はこちら 60
修理について 61

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

呼び方

呼び方	説明
本製品	Rec-POT(HVR-HD160M)
チューナー	デジタルチューナー、デジタルチューナー内蔵テレビ

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

 **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

マークの説明

	この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
	この記号は、禁止の行為を告げるものです。
	この記号は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止する

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。



内部に異物や液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら電源プラグを抜く



金属などの端面への接触

本製品の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードが傷むと、火災・感電・故障の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- ねじらない
- 熱器具のそばで使わない
- 重ねて使わない



電源コードの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
  不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 長時間本製品を使わない場合は、電源プラグを抜いてください。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使うと、火災や感電の原因になります。使う場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



電源プラグのほこりは定期的にそうじする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。



修理・改造・分解はしない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有料修理となる場合があります。


感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。


禁止

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因になります。


禁止

コンセントや配線機器の定格を超えたり、交流 100V 以外で使わない

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。


接触禁止

接触禁止

雷が鳴り出したら本製品やケーブルには触れないでください。感電の原因となります。


厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従う


禁止

装置内部へ異物をいれない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。


水濡れ禁止

水でぬらさない

水がかかったり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺・風呂場、シャワー室で使う際は特にご注意ください。
- 水などの入ったものを上に置かないでください。
  （コップ、花びん、植木鉢、化粧品や薬品容器など）


禁止

落としたり破損した場合は使わない

火災や感電の原因になります。


厳守

電池は、乳幼児の手の届かない場所に置く

電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、体や衣服に付くと、失明や「けが」、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ⇒ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服に付いたとき ⇒ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
皮膚の炎症や「けが」の症状があるときは、医師に相談してください。


禁止

電池で以下のことに注意する

液が漏れて、「けが」や「やけど」の原因となります。

- くぎを刺したり、分解・改造をしない
- 60℃以上の場所、車中で放置しない
- 定格条件以外では使わない
- 水につけない
- （＋）（－）を金属類やはんだで短絡させたりしない
- ネックレスやヘアピンなどの金属と一緒に持ち運ばない
- 電子レンジ・オーブンに入れない
- 充電しない
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らさない


破裂注意

リチウム電池の取り扱いについて

添付および指定の電池はリチウム電池です。
リチウム電池には、リチウムが含まれており、誤った使い方、交換、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。
電池を水に浸したり、加熱したり、分解したりしないでください。


禁止


禁止

通気孔をふさがない

本製品にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。
物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。

注意


厳守

接続したままで移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
電源コードや接続コードを外したこと確認してから移動させてください。


厳守

配線について

電源コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。
足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。


禁止

上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。


禁止

本製品に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となることがあります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。


禁止

本製品は下記のような場所で使わない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 熱器具の近く
- 振動や衝撃の加わるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 風通しの悪いところや狭いところ


厳守

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、「けが」や「やけど」の原因となります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。


禁止

電池を充電しない

液が漏れて、「けが」や「やけど」の原因となります。


禁止

本製品は日本国内仕様です

国外では使わないでください。
国外で使った場合、弊社は一切責任を負いかねます。

はじめに

特長.....8

内容物を確かめる.....9

各部の名称.....10

前面..... 10

背面..... 11

専用リモコン..... 12

使用上のご注意.....13

特長

本製品は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をデジタル録画する i.LINK 接続ハードディスクです。
ここでは、本製品の特長を簡単に紹介いたします。

デジタル放送をそのまま録画

本製品は、松下電器産業株式会社のデジタル家電用ハードディスク「AVHDD」を使っています。
i.LINKによるデジタル録画のため、現在最高の画質レベルで提供されているデジタルハイビジョン放送を高画質のまま劣化なしに録画できます。
地上デジタル放送の場合、HDレート約17時間／SDレート約50時間の録画が可能です。
BSデジタル放送の場合、HDレート約14時間／SDレート約42時間の録画が可能です。

ハードディスクならではの瞬間高速頭出し

高速なハードディスクを搭載することで、テープを使うD-VHSビデオデッキに比べてアクセススピードが飛躍的にアップ、瞬間高速頭出しを実現しました。

見たい番組を素早く探す

・録画した番組のリストから見たい番組を探し再生する事ができます。
【Rec-POTメニュー】(30ページ)
・専用リモコンによる早送り／早戻し（3/6/12/24/100倍速）、約30分飛ばして再生するスキップ機能を搭載しています。
【再生する】(41ページ)

番組をD-VHSビデオデッキにデジタルダビング・移動

本製品に録画した番組を、D-VHSビデオデッキにダビングしたり、移動したりすることができます。
【D-VHSビデオデッキに番組をダビングする】(27, 46ページ)
【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(28, 48ページ)

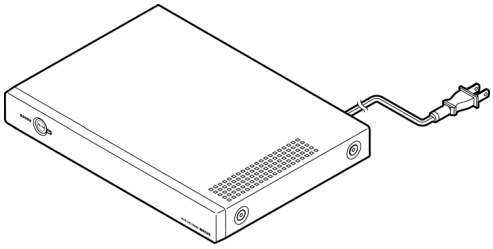
i.LINKケーブル１本で簡単接続

i.LINK機器のため、i.LINKケーブル１本で簡単に接続することができます。

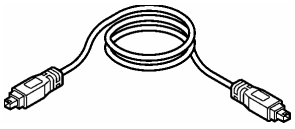
内容物を確かめる

ここでは、本製品の内容物をご案内します。

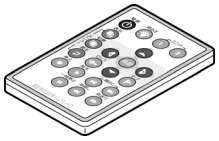
☐ **ハードディスクレコーダー（1台）** [Rec-POT]



☐ **i.LINKケーブル（1本：1.2m）**



☐ **専用リモコン（1個）**



☑ **Rec-POT取扱説明書（1冊：本書）**

☐ **ハードウェア保証書（1枚）**

☐ **対応表（1枚）**

☐ **ユーザー登録カード（1枚）**

ユーザー登録をしてください

ユーザー登録の方法は複数ございます。
全てユーザー登録カードに記載されておりますので、そちらをご覧ください。

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。
シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。

※ シリアル番号(S/N)は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。

参考

箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

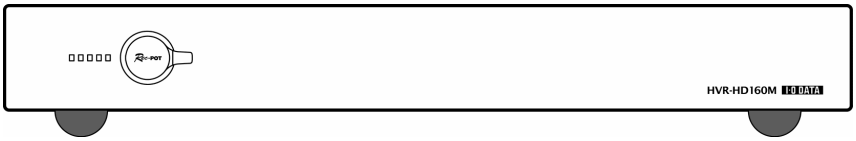
専用リモコンは、ディスクモードでは使いません

チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

各部の名称

ここでは、本製品の各部分の名称とその機能を説明します。

前面



名称	説明
電源ランプ 	電源状態を表します。　【電源状態について】(19ページ) 青： D-VHSモードで、電源状態が「ON」になっています。 紫： ディスクモードで、電源状態が「ON」になっています。 オレンジ： 電源状態が「待機」になっています。
再生／録画ランプ 	再生／録画状況を表します。 緑： 再生中（点滅は再生一時停止） 赤： 録画中（点滅は録画一時停止） 緑⇔赤： 全消去中 消灯： 停止中
ステータスゲージ 	製品の状況を表します。 **●残り容量の表示(停止時、録画時、メニュー表示時)** D-VHSモードではロックされていない容量を、ディスクモードでは使われていない容量を、残り容量として表示します。 緑　■■■■■：残り容量が85～100%です。 緑　■■■■□：残り容量が60～84%です。 緑　■■■□□：残り容量が45～59%です。 緑　■■□□□：残り容量が30～44%です。 緑　■□□□□：残り容量が15～29%です。 赤　■□□□□：残り容量が1～14%です。 赤点滅■□□□□：残り容量が0%です。（両方のモード） または、番組数が128個です。（D-VHSモードのみ） これ以上録画することはできません。 **●操作状態の表示** 緑が右に移動する：プログラム再生時、プログラム保存時 赤が右に移動する：プログラム移動時、録画時 赤が左に移動する：全消去操作時

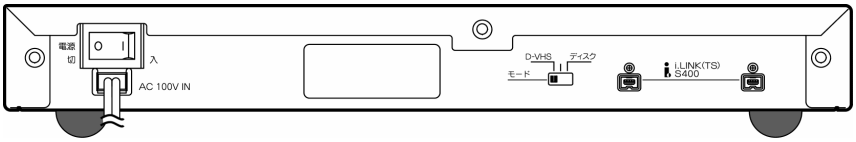
注意

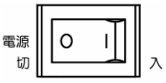
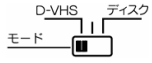
ディスク残量がほとんど無い場合、録画した番組数が128個の場合

D-VHSモードに切り換えないでください。

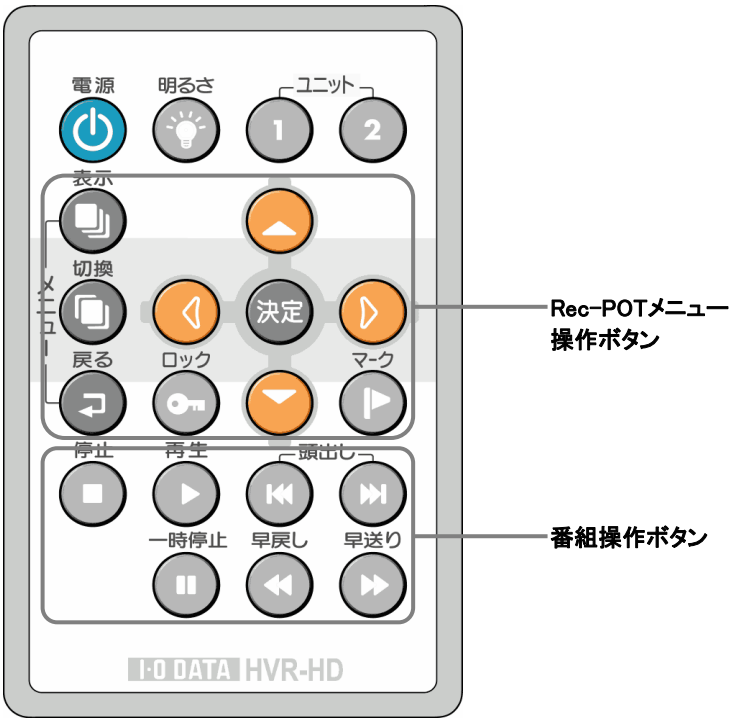
ディスク残量が1%未満の場合や、録画した番組数が128個の場合、D-VHSモードで電源が入ると、ロックされていない一番古い番組が自動的に消去されます。

背面



名称	説明
電源スイッチ 	本製品の電源を入れます。
モードスイッチ 	本製品のモードを設定できます。　【モードを切り換える】(16ページ) D-VHS：本製品はD-VHSモードに設定されます。（初期設定） ディスク：本製品はディスクモードに設定されます。 ※ スイッチ中央は使いません。 スイッチ中央に設定しないでください。
i.LINK端子 	i.LINKケーブルで、チューナーや他のi.LINK機器と接続します。

専用リモコン



名称	説明
[電源]ボタン	本製品の電源状態を切り換えます。 【電源状態について】(19ページ) ※ 番組の録画／再生中やRec-POTメニュー表示時には使えません。
[明るさ]ボタン	本製品前面のランプの明るさを、3段階で変えることができます。
ユニット番号ボタン	本製品を２台お使いの時、操作する本製品を選びます。 また、約5秒押すことで操作音のON/OFFを行います。 【機器設定】(38ページ)
Rec-POTメニュー操作ボタン	Rec-POTメニューを操作するのに使うボタンです。 【Rec-POTメニュー】(30ページ)
番組操作ボタン	番組を再生しているときなどに使います。 【番組再生時の操作】(43ページ) ※ 番組の録画中は使えません。

参考

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません

チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

お手入れについて

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。
・化学ぞうきんを使う際は、その注意書きにしたがってください。
・お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電の原因となることがあります。

大切な録画は…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されている事を確認してください。
・本製品を使っているときに、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消去されてしまう事があります。

記録された番組の互換性について

本製品に記録された番組は、記録したチューナーでご覧ください。
他のチューナーでは、再生できない場合があります。
また、本製品に記録された番組は、全てのチューナーで再生できることを保証するものではありません。

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化の影響により、記録された映像が損なわれる場合がありますので、以下の点にご注意ください。

・設置場所にご注意ください。 【設置する】(17ページ)
・衝撃をあたえないでください。
・録画や再生中は電源プラグを抜かないでください。電源を切り、動作が完全に終了してから、電源プラグを抜いてください。
・ハードディスクに記録されたデータは保証されるものではありません。

著作権保護のための録画防止機能について

著作権保護のために、録画禁止の信号が付加されている放送や映像を録画することはできません。

著作権について

本製品で録画、録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使えません。

使えるようにしよう

モードを切り換える.....16

設置する.....17

接続する.....18

電源を入れる／切る.....19

専用リモコンを準備する.....20

チューナーに登録する.....21

モードを切り換える

まず、本製品をチューナーに合ったモードに設定します。
（出荷時に、本製品は D-VHS モードになっています。）

注意

ディスク残量がほとんど無い場合、録画した番組数が128個の場合

D-VHSモードに切り換えないでください。

ディスク残量が1%未満の場合や、録画した番組数が128個の場合、D-VHSモードで電源が入ると、ロックされていない一番古い番組が自動的に消去されます。

1 本製品の電源を切ります。

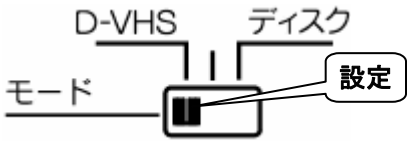
本製品の電源を入れていない場合は、この作業は必要ありません。

【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

2 お使いのチューナーが対応しているモードを確認します。

別紙の「対応表」をご覧ください。

3 モードを換える必要がある場合は、背面のモードスイッチを設定します。



参考

ディスクモード

ハードディスクレコーダーとして動作します。

操作は全てチューナー側で行います。専用リモコンは使いません。

D-VHSモード

D-VHSビデオデッキとして動作します。

操作は、チューナー側と専用リモコンで行います。

注意

モードスイッチを中央に設定しないでください

本製品では、モードスイッチの中央は使いません。

モードスイッチは必ず「ディスク」か「D-VHS」に設定してください。

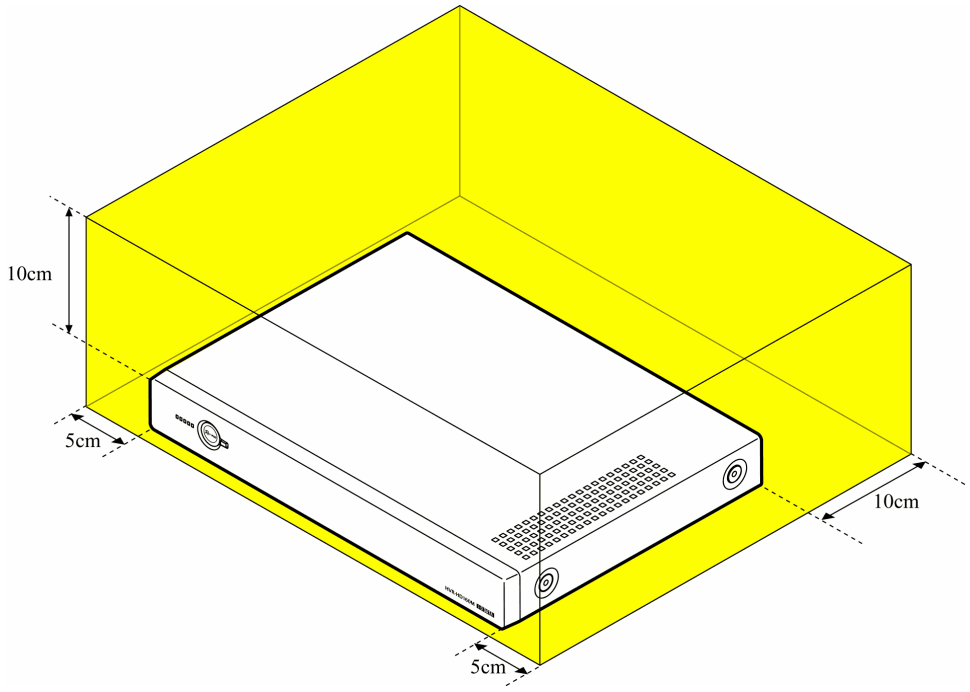
モードを切り換えた場合、チューナーへの登録を確認してください

【チューナーに登録する】(21ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

設置する

次のような場所に設置してください。

- 左右 5cm，上面 10cm，背面 10cm 以上を空けて設置できる場所
- 風通しの良い場所（密閉されていない場所）
- 水平で安定した場所
- 本製品の脚の間に何も入らない場所



注意

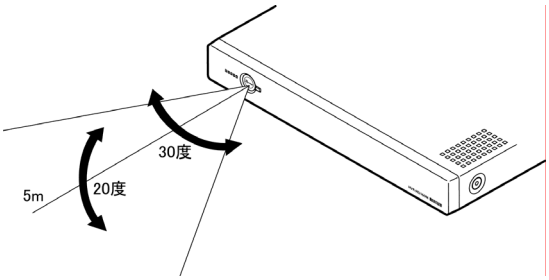
下記にご注意ください

- テレビやチューナーなどの上には設置しないでください。
- 本製品の上には、何も置かないでください。

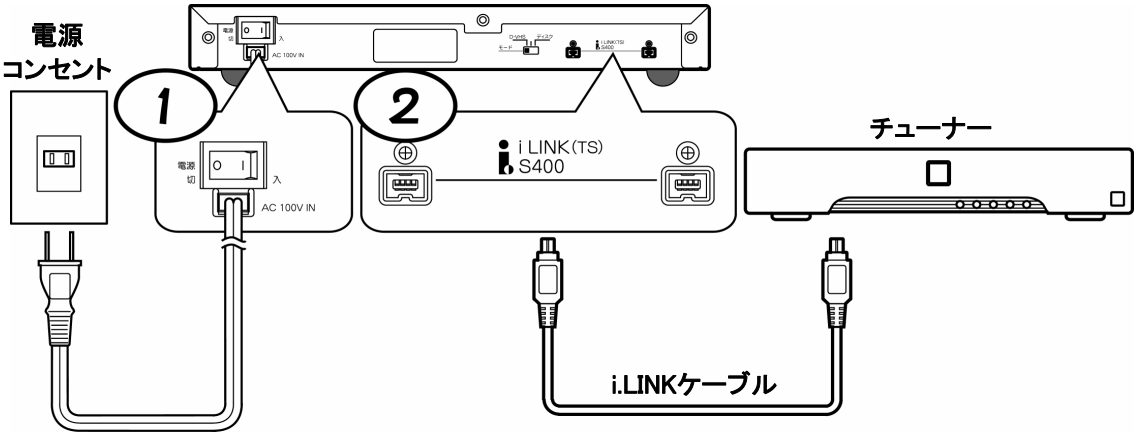
参考

専用リモコンの操作可能な範囲について

本製品の電源ランプがリモコン受光部となっております。
そこより、距離は正面5m、左右に30度、上下に20度以内で操作してください。



接続する



1 本製品をコンセントに接続します。

注意

コンセントから取り外すときは・・・

必ず、本製品の電源を切ってから行ってください。

電源の切り方については、【電源を入れる／切る】(次ページ)をご覧ください。

2 お使いのチューナーと本製品を、添付のi.LINKケーブルで接続します。

他にi.LINK機器が接続されている場合は、その後に接続します。

参考

どちらのi.LINK端子に接続してもかまいません

i.LINK端子はどちらも同じものです。どちらに接続しても問題なくお使いいただけます。

チューナー側で接続に注意・制限事項がある場合があります

チューナーの取扱説明書も同時に参照しながら、接続してください。

パソコンに接続しても使えません

本製品は、著作権保護機能に対応しており、録画された番組は暗号化されています。
そのため、パソコンと接続してお使いいただけません。あらかじめご了承ください。

添付のi.LINKケーブルを紛失された場合

S400対応のi.LINKケーブルをご購入ください。

注意

ループ接続をしないでください

i.LINKでは、輪になるように接続すると正しく動作しません。
輪にならないように接続してください。

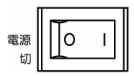
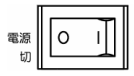


電源を入れる／切る

接続を終えたら、本製品の電源を入れてください。

電源を入れる／切る

電源は、背面の電源スイッチで入／切します。

電源操作	電源スイッチ	説明
入れる	入 	電源が入ります。 本製品の前面にある電源ランプが点灯します。 青：D-VHS モード　電源状態「ON」 紫：ディスクモード 電源状態「ON」 本製品が使えるようになるまで、約 20 秒ほどかかります。
切る	切 	必ず、電源状態を「待機」にしてから切ってください。 「待機」にせずに電源を切ると、録画情報が消えるなどの問題が発生するおそれがあります。

注意

録画予約をしている時は、電源を切らないでください

本製品の主電源を切ってしまうと、録画予約などで自動的に本製品を起動できません。
そのため、録画予約などの失敗の原因となります。

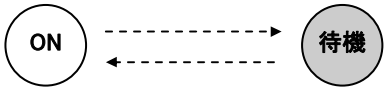
電源状態について

電源状態には、「ON」「待機」の２つがあります。

状態	電源ランプ	説明
ON	青（D-VHS モード） 紫（ディスクモード）	Rec-POT メニューを表示、再生、録画などをすることができます。
待機	オレンジ	専用リモコンの電源ボタンを押したり、チューナーから予約録画の連絡が来ると、電源状態が「ON」になります。

電源状態の変化

専用リモコンの電源ボタンやチューナーからの操作で変化します。



参考

専用リモコンの電源ボタンは下記の場合は使えません

・番組を録画／再生している
・Rec-POTメニュー(30ページ)を表示している

専用リモコンを準備する

専用リモコンを準備する方法や電池の入れ替えについて説明します。

参考

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません

チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

本製品2台を操作するための設定

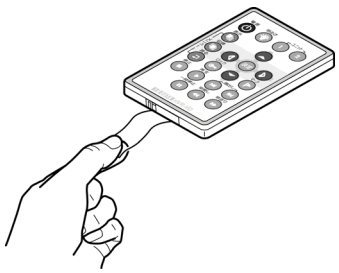
本製品のメニューから行うことができます。

【機器設定】(38ページ)をご覧ください。

最初に入っている電池を使えるようにする

専用リモコンには電池が入っています。

専用リモコンから出ているフィルムを引っ張り出して、電池を使えるようにしてください。



電池を入れ替える

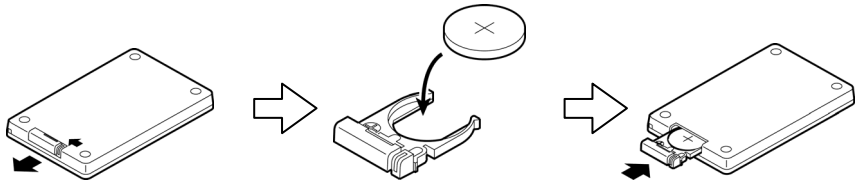
専用リモコンで操作をしても操作が届きにくくなった場合は、電池（CR2025）を交換してください。

① 専用リモコンの裏面を上にします。

② 電池ブタのスライド部を左に動かしてから、電池ブタを引き出します。

③ 古い電池を取り出し、新しい電池を＋側が表になるように電池ブタにおきます。

④ 電池の＋側が専用リモコンの裏面を向くように電池ブタを押し込みます。



注意

極性（＋，－）を逆にしないでください

本製品の動作不良および故障の原因となります。

指定された電池（CR2025）以外を使わないでください

本製品の動作不良および故障の原因となります。

チューナーに登録する

本製品を使うには、「i.LINK 機器」としてチューナーに登録する必要があります。
通常は、本製品を接続するだけで登録されます。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、登録されているかどうかを確認しましょう。

参考

本製品は、下のように登録されます

ディスクモードの場合、本製品はハードディスクレコーダーとして動作します。
D-VHSモードの場合、本製品はD-VHSビデオデッキとして動作します。
モードによって、チューナーに登録される名前が異なります。

正しく本製品が登録されない

全てのi.LINK機器の登録を削除してください。

例：SONY DST-TX1への登録

参考

ここで紹介している方法はSONY DST-TX1での手順例です

必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。
他のチューナーをお使いの方も、操作の流れを参考にしてください。

この手順の操作は、全てチューナーのリモコンで行います

他のリモコンで操作しないようにご注意ください。
また、画面は全てディスクモードの本製品を接続したときのものです。

1 本製品をDST-TX1に接続し、電源を入れます。

【接続する】(18ページ)、【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

2 i.LINKボタンを押します。

⇒i.LINKスタジオが表示されます。

3 [機器選択]ボタンを選び、決定ボタンを押します。

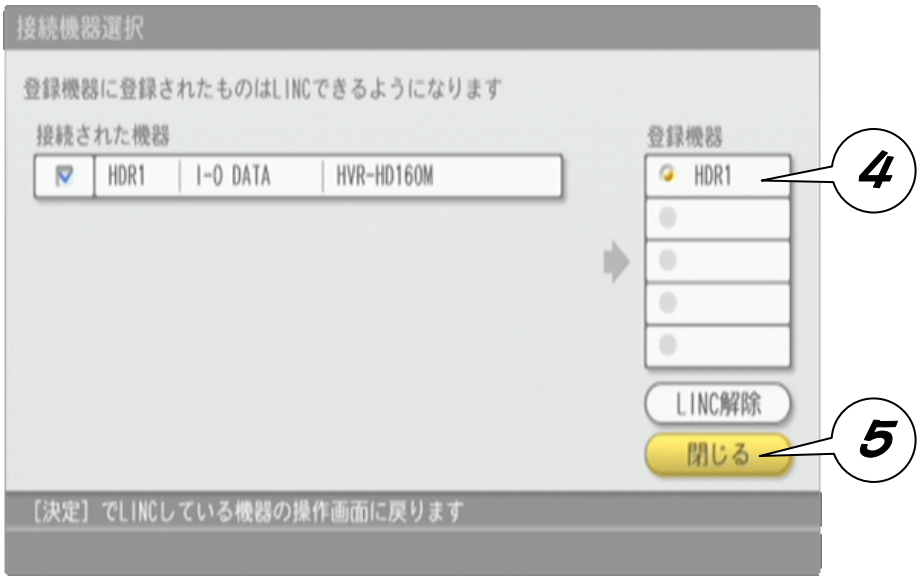
⇒接続機器選択画面が表示されます。



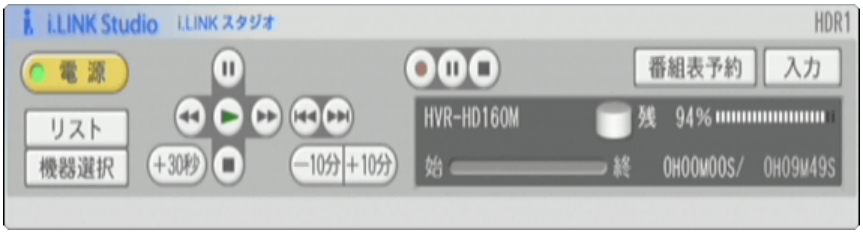
4 右側の「登録機器」で本製品を選び、決定ボタンを押します。

5 [閉じる]ボタンを選び、決定ボタンを押します。

⇒i.LINKスタジオに戻ります。



6 本製品の操作ボタンが表示されていれば、登録完了です。



使ってみよう(ディスクモードの場合)

録画する 24

録画の仕組み 24

例：SONY DST-TX1 での予約録画 25

再生する 26

例：SONY DST-TX1 での再生 26

D-VHS ビデオデッキに番組をダビングする 27

D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 28

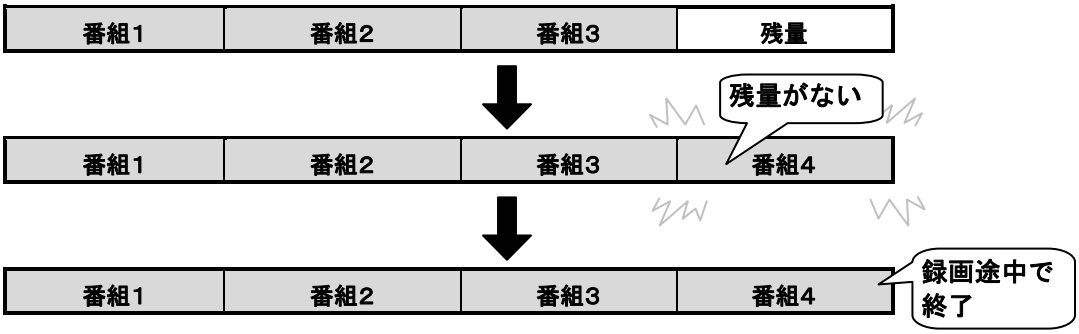
録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

録画の仕組み

録画するためには、本製品のディスク残量が必要です。



注意

録画時間が短すぎると、正しく録画できない場合があります

正しく録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。

また、2分未満の録画では、正しいタイトルで記録されないことがあります。

ディスク残量がほとんど無い場合、録画した番組数が128個の場合

D-VHSモードに切り換えないでください。

ディスク残量が1%未満の場合や、録画した番組数が128個の場合、D-VHSモードで電源が入ると、ロックされていない一番古い番組が自動的に消去されます。

参考

録画できる時間の目安

下記の録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

地上デジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）	約17時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）	約50時間

BSデジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）	約14時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）	約42時間

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大128までとなります。

ディスク残量が少ない場合

チューナー側の操作で不要な番組を消去してください。

例：SONY DST-TX1での予約録画

参考

ここで紹介している方法はSONY DST-TX1での手順例です

必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。
他のチューナーをお使いの方も、操作の流れを参考にしてください。

この手順の操作は、全てチューナーのリモコンで行います

他のリモコンで操作しないようにご注意ください。

1 番組表表示ボタンを押します。

⇒番組表が表示されます。

2 番組を選び、決定ボタンを押します。

⇒番組の右横に選択メニューが表示されます。

3 [かんたん録画予約]を選び、決定ボタンを押します。

⇒確認画面が表示されます。



4 録画機器が本製品になっていることを確認します。

参考

本製品の表示を確認する

【例：SONY DST-TX1への登録】(21ページ)をご覧になり、本製品がどのように表示されているかご確認ください。

5 [予約する]を選び、決定ボタンを押します。

⇒予約設定を完了しました。



再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の再生を行ってください。

例：SONY DST-TX1での再生

参考

ここで紹介している方法はSONY DST-TX1での手順例です

必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

他のチューナーをお使いの方も、操作の流れを参考にしてください。

この手順の操作は、全てチューナーのリモコンで行います

他のリモコンで操作しないようにご注意ください。

また、画面は全てディスクモードの本製品を接続したときのものです。

1 i.LINKボタンを押します。

⇒i.LINKスタジオが表示されます。

2 [リスト]ボタンを選び、決定ボタンを押します。

⇒再生リストが表示されます。



3 番組を選び、決定ボタンを押します。

⇒番組の右横に選択メニューが表示されます。

4 [再生]を選び、決定ボタンを押します。

⇒番組が再生されます。



D-VHSビデオデッキに番組をダビングする

本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組のダビングは、Rec-POT メニューで行います。
下の手順に従って、作業を進めてください。

注意

D-VHSモードに対応していないチューナーでは、作業を行えません

本作業は、D-VHSモードで行います。
お使いのチューナーがD-VHSモードに対応しているかどうか、ご確認ください。
D-VHSモードに対応していない場合は、本ページ下の参考【D-VHSビデオデッキを操作してダビングをする方法例】をご覧ください。

ディスク残量がほとんど無い場合、録画した番組数が128個の場合

D-VHSモードに切り換えないでください。
ディスク残量が1%未満の場合や、録画した番組数が128個の場合、D-VHSモードで電源が入ると、ロックされていない一番古い番組が自動的に消去されます。

参考

ダビングできない番組

著作権保護機能（コピーワンス）がかかっている番組はダビングできません。
移動のみ可能となります。【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(次ページ)をご覧ください。

1 本製品の電源を切ります。

【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

2 本製品をD-VHSモードに切り換えます。

【モードを切り換える】(16ページ)をご覧ください。

注意

チューナーへの登録を確認してください

【チューナーに登録する】(21ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

3 D-VHSモードのダビングについての説明をご覧ください。

【D-VHSビデオデッキに番組をダビングする】(46ページ)をご覧ください。

参考

D-VHSビデオデッキを操作してダビングをする方法例

① D-VHSビデオデッキに本製品が認識されているのを確認します。
② D-VHSビデオデッキを録画一時停止状態にします。
③ チューナーの操作で、本製品を再生状態にします。
④ D-VHSビデオデッキの録画一時停止を解除します。

※ D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合、そのD-VHSビデオデッキからはダビング中の番組を見ることはできません。
※ 本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオに保存されている番組を本製品にダビングすることはできません。

D-VHSビデオデッキに番組を移動する

本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組の移動は、Rec-POT メニューで行います。
下の手順に従って、作業を進めてください。

注意

D-VHSモードに対応していないチューナーでは、作業を行えません

本作業は、D-VHSモードで行います。
お使いのチューナーがD-VHSモードに対応しているかどうか、ご確認ください。

ディスク残量がほとんど無い場合、録画した番組数が128個の場合

D-VHSモードに切り換えないでください。
ディスク残量が1%未満の場合や、録画した番組数が128個の場合、D-VHSモードで電源が入ると、ロックされていない一番古い番組が自動的に消去されます。

1 本製品の電源を切ります。

【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

2 本製品をD-VHSモードに切り換えます。

【モードを切り換える】(16ページ)をご覧ください。

注意

チューナーへの登録を確認してください

【チューナーに登録する】(21ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

3 D-VHSモードの移動についての説明をご覧ください。

【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(48ページ)をご覧ください。

使ってみよう(D-VHSモードの場合)

Rec-POT メニュー 30

Rec-POT メニューを表示／切換／閉じる 30
Rec-POT メニューの種類 31
タイトルリスト 32
プログラム再生/保存/移動 34
接続機器設定 36
機器設定 38

録画する 40

録画の仕組み 40
例：SONY DST-TX1 での予約録画 40

再生する 41

番組を再生する 41
番組をプログラム再生する 42
番組再生時の操作 43

番組を保護する[ロック] 44

ロックの仕組み 44
番組をロック／解除する 44
今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能） 45
全ての番組のロックを解除する 45

D-VHS ビデオデッキに番組をダビングする 46

D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 48

番組移動前の確認 48
本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組移動操作 49

Rec-POTメニュー

本製品には、便利にお使いいただくための「Rec-POT メニュー」が搭載されています。

参考

Rec-POTメニューはデータ放送番組として作られています

そのため、データ放送番組としてチューナーに受信されるまで数秒～十数秒かかります。
また、Rec-POTメニューの番組一覧に「メニューデータ」という番組が表示されます。
この「メニューデータ」は、Rec-POTメニューで操作することができません。

Rec-POTメニューを表示／切換／閉じる

専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押してください。
⇒Rec-POTメニューの「タイトルリスト」が表示されます。

ボタン	説明
 **[メニュー表示]ボタン**	Rec-POTメニューを表示します。 Rec-POTメニューが表示されているときは、Rec-POTメニューを閉じます。
 **[メニュー切換]ボタン**	下記の順で、Rec-POTメニューを切り換えます。 →「タイトルリスト」→「プログラム再生/保存/移動」 「接続機器設定」→「機器設定」
 **[メニュー戻る]ボタン**	［メニュー切換］ボタンと反対の順で、Rec-POTメニューを切り換えます。

参考

メニューの表示、切り換えには時間がかかります

しばらくお待ちください。

[メニュー表示]ボタンを押しても表示されない

・専用リモコンで操作する本製品が違う可能性があります。ユニット番号ボタンを操作してみてください。
・チューナーによっては、i.LINK機器を使えるようにチューナーを設定してからでないと本製品が動作しないものがあります。
【チューナーに登録する】(21ページ)の作業を行ってください。

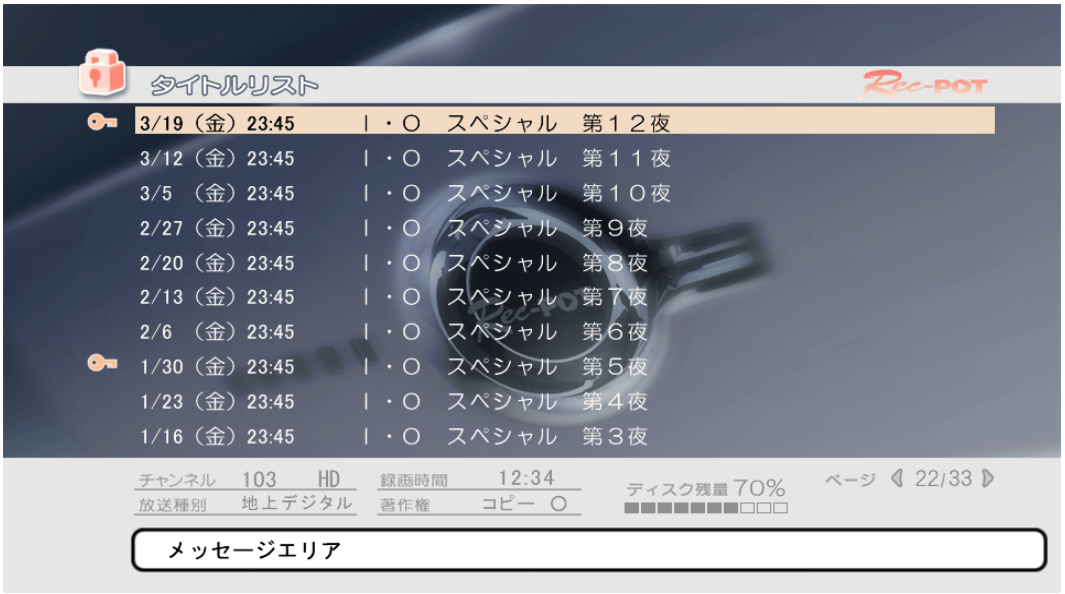
Rec-POTメニューの種類

Rec-POTメニューには「タイトルリスト」，「プログラム再生/保存/移動」，「接続機器設定」，「機器設定」の４つがあります。
それぞれのメニューでできる操作が異なります。

メニュー	ページ	説明
タイトルリスト	次	録画した番組の再生や番組のロックを行います。
プログラム再生/保存/移動	34	録画した番組を好きな順番で再生、保存（ダビング）、移動します。
接続機器設定	36	本製品から保存や移動を行うi.LINK機器の設定を行います。
機器設定	38	本製品の設定を行います。

タイトルリスト

録画した番組の再生やロックを行います。



■ 番組一覧

項目	説明
ロック	番組がロックされているかどうかを表示します。 【番組を保護する［ロック］】（44ページ）
録画開始日時	番組の録画開始日時を表示します。
タイトル	番組のタイトルを表示します。

■ 情報

項目	説明
チャンネル	番組のチャンネルと放送画質を表示します。
録画時間	番組の総時間を表示します。
放送種別	番組の放送種別を表示します。 ＢＳデジタル：BSデジタル放送 １１０度ＣＳ：110度CSデジタル放送 ＣＳデジタル：スカイパーフェクト 地上デジタル：地上デジタル放送 　　－－－－：不明な放送種別
著作権	番組の著作権情報を表示します。 コピー ○：コピー・移動を行えます。 コピー △：コピー可能な本編の前後に、コピー不可能な番組が含まれています。 　　そのため、コピーすることができません。移動のみ行えます。 コピー ×：移動のみ行えます。
ディスク残量	ディスク残量がどれくらいあるかを表示しています。 番組をロックするたびに減っていきます。
ページ	現在のページ／全体のページ数を表示します。
メッセージエリア	問題があったとき、画面下部にメッセージを表示します。 【Rec-POTメニューメッセージ】(55ページ)



再生	【番組を再生する】(41ページ)
ロック(保護)	【番組を保護する［ロック］】(44ページ)

プログラム再生/保存/移動

録画した番組を好きな順番で再生、保存（ダビング）、移動します。



参考

プログラム再生／保存／移動

プログラム再生　マークされた順に、番組を再生するメニューです。
プログラム保存　マークされた順に、番組をD-VHSビデオデッキに保存（ダビング）するメニューです。
プログラム移動　マークされた順に、番組をD-VHSビデオデッキに移動するメニューです。

プログラム再生／保存／移動の切り換え

機器設定のプログラムモード時の動作で行います。
【機器設定】(38ページ)をご覧ください。

■ 番組一覧

項目	説明
マーク	番組がマークされているかどうかを表示します。 マークされた順に再生／保存／移動が行われます。 マークは、最大１６個まで付けることができます。  プログラム再生時に表示されます。 【番組をプログラム再生する】(42ページ)  プログラム保存時に表示されます。 【D-VHSビデオデッキに番組をダビングする】(46ページ)  プログラム移動時に表示されます。 【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(48ページ)
ロック 	番組がロックされているかどうかを表示します。ここではロックできません。 「プログラム移動」以外でマークとロックが重なった場合、表示されません。 【番組を保護する［ロック］】(44ページ)
録画開始日時	番組の録画開始日時を表示します。
タイトル	番組のタイトルを表示します。

■ 情報

項目	説明
チャンネル	番組のチャンネルと放送画質を表示します。
録画時間	番組の総時間を表示します。
放送種別	番組の放送種別を表示します。詳細は、33ページをご覧ください。
著作権	番組の著作権情報を表示します。詳細は、33ページをご覧ください。
接続機器情報	設定された接続機器を表示します。 保存（ダビング）／移動は接続機器に行われます。　【接続機器設定】(36ページ)
ページ	現在のページ／全体のページ数を表示します。
選択合計	マークした番組の録画時間を合計した時間が表示されます。 また、プログラム再生が繰り返されるかどうかを表示します。  最後まで再生すると、そこで再生を停止します。  最後まで再生すると、頭から再生を繰り返します。
メッセージエリア	問題があったとき、画面下部にメッセージを表示します。 【Rec-POTメニューメッセージ】(55ページ)



プログラム再生	【番組をプログラム再生する】(42ページ)
プログラム保存	【D-VHSビデオデッキに番組をダビングする】(46ページ)
プログラム移動	【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(48ページ)

接続機器設定

本製品から保存や移動を行うi.LINK機器の設定を行います。



■ 機器一覧

機器は、最大５台まで表示されます。

「D-VHSビデオデッキ」または「D-VHSモードのRec-POT」以外の機器は表示されません。

項目	説明
機器選択	保存／移動用に設定された機器かどうかを表示します。
メーカー名	機器のメーカー名を表示します。
機種名	機器の名称を表示します。
状態	機器の電源状態を表示します。

参考

チューナーが認識できる機器の台数にご注意ください

Rec-POTメニューの接続機器設定に表示される機器は最大５台ですが、チューナーが認識できる機器の台数により、さらに表示される機器の台数が少なくなることがあります。

チューナーが認識できる機器の台数については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

■ 接続機器を設定する

本製品から番組を保存／移動する機器を、「接続機器」と呼びます。

1 機器を接続します。

表示される機器は、「D-VHSビデオデッキ」または「D-VHSモードのRec-POT」となります。

① 機器の電源を入れます。

② 本製品と機器を接続します。

参考

他のRec-POTシリーズ（HVR-HD80, HVR-HD120S, HVR-HD240S）を認識する

モード 3 にしてください。D-VHSモードのRec-POTとして認識されます。

注意

接続にご注意ください

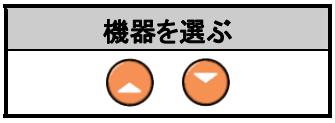
【接続する】（18ページ）をご覧になり、機器の接続を行ってください。

2 Rec-POTメニュー「接続機器設定」を表示します。

① 専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押します。

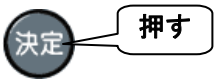
② 専用リモコンの［メニュー切換］ボタンを２度押し、「接続機器設定」にします。

3 機器を選びます。



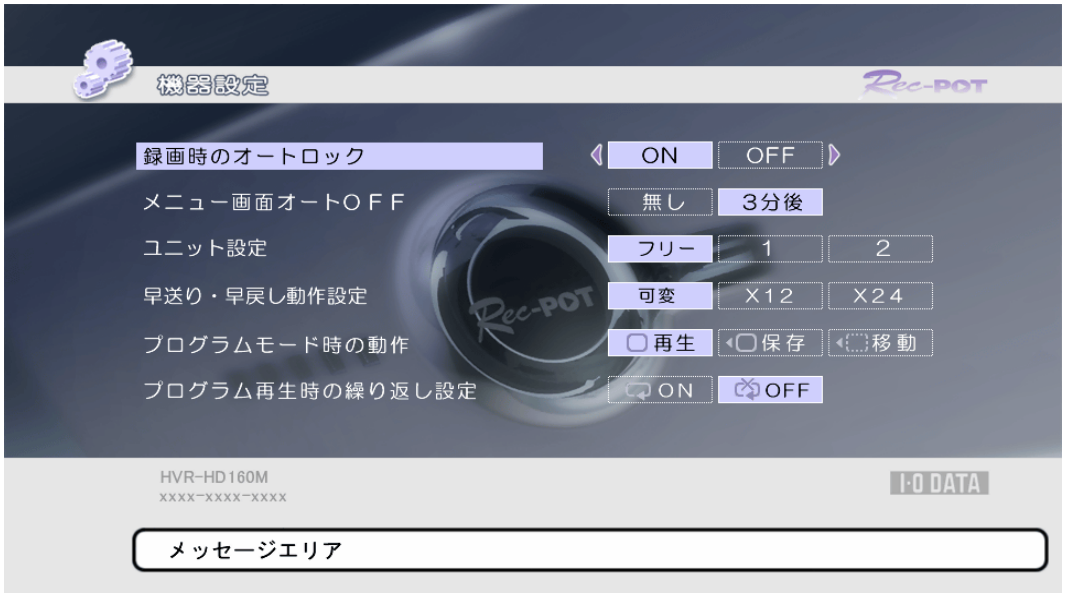
4 ［決定］ボタンを押します。

⇒接続機器が設定されました。この機器に保存／移動が行われます。



機器設定

本製品の設定を行います。



■ 設定

項目	説明
録画時のオートロック	［ON］にすると、録画した番組が自動的にロックされます。 【番組を保護する［ロック］】（44ページ）
メニュー画面オートOFF	［３分］にすると、３分間操作を行わないとメニューが閉じられます。
ユニット設定	複数の本製品をお持ちの場合に使います。 設定は、メニューを閉じた後で有効になります。 ［フリー］：リモコンが１、２のどちらでも操作可能です。 １台のみお使いの場合におすすめです。 ［１］［２］：それぞれのユニット番号ボタンを押したリモコンでのみ操作可能です。
早送り･早戻し動作設定	［早送り］［早戻し］ボタンを押した時の動作を設定します。 ［可変］：3～100倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。 詳しくは、次ページの参考をご覧ください。 ※ チューナーによっては、スピード変化時に画面が止まったり、映像がカクカクする場合があります。その場合、［×12］［×24］に設定してください。 ［×12］：12倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。 ［×24］：24倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。

項目	説明
プログラムモード時の動作	Rec-POTメニューのプログラム再生/保存/移動でどの操作を行うかを設定します。
プログラム再生時の繰り返し設定	［ON］にすると、プログラム再生時に最後まで再生した時に先頭から繰り返して再生するようになります。 ※「プログラムモード時の動作」が［再生］の時のみ表示されます。

参考

早送り･早戻し動作設定[可変]時の動作

それぞれ3、6、12、24、100倍の5段階でスピードが変化します。

・早送り中に［早送り］ボタンを押す、または早戻し中に［早戻し］ボタンを押すたびに、スピードが増していきます。

・早送り中に［早戻し］ボタンを押す、または早戻し中に［早送り］ボタンを押すと、それぞれ押したボタンに対応した状態の3倍スピードとなります。

・途中で再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

ボタン	スピード					
	通常再生	**3倍**	**6倍**	**12倍**	**24倍**	**100倍**
	3倍	6倍	12倍	24倍	100倍	100倍
	3倍					
	通常再生					
ボタン	**通常再生**	**3倍**	**6倍**	**12倍**	**24倍**	**100倍**
	3倍					
	3倍	6倍	12倍	24倍	100倍	100倍
	通常再生					

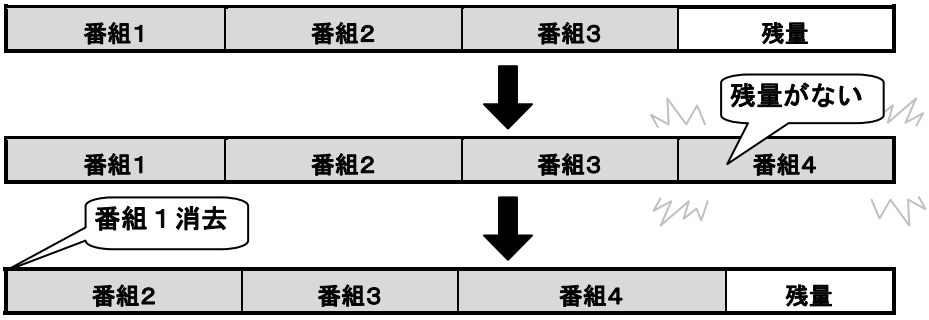
録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

録画の仕組み

録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えた場合、古い番組から順に消去していきます。



注意

録画時間が短すぎると、正しく録画できない場合があります

正しく録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。

また、2分未満の録画では、正しいタイトルで記録されないことがあります。

参考

録画できる時間の目安

下記の録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

地上デジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）	約17時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）	約50時間

BSデジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）	約14時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）	約42時間

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大128までとなります。

現在録画中の番組は消去されません

ディスク残量が無くなったので、番組先頭から上書きされるということはありません。

録画を続けられなくなったら、本製品は録画を終了します。

消去されたくない番組を保護する

【番組を保護する［ロック］】(44ページ)をご覧ください。

例：SONY DST-TX1での予約録画

【例：SONY DST-TX1での予約録画】(25ページ)をご覧ください。

再生する

本製品からの再生は、Rec-POT メニューの操作で行います。

項目	ページ
番組を再生する	本ページ
番組をプログラム再生する	次ページ
番組再生時の操作	43ページ

番組を再生する

1 Rec-POTメニュー「タイトルリスト」を表示します。

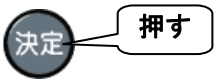
専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押します。

2 再生したい番組を選びます。

番組を選ぶ	ページを切り換える
	

3 [決定]ボタンを押します。

⇒選んだ番組が再生されます。



参考

連続再生について

選んだ番組が再生を終えた場合、それよりも新しい番組がある場合は、順に再生します。
最新の番組を再生し終えたら再生を終了します。

番組をプログラム再生する

録画した番組を好きな順番で再生する「プログラム再生」を行います。

1 Rec-POTメニュー「プログラム再生」を表示します。

① 専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押します。

② 専用リモコンの［メニュー切換］ボタンを１度押し、「プログラム」にします。
「プログラム再生」ではない場合は、「機器設定」の「プログラムモード時の動作」で［再生］を選んでください。 【機器設定】(38ページ)

2 再生したい番組にマークを付けていきます。

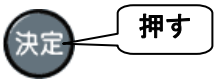
番組を選び、専用リモコンの［マーク］ボタンを押します。

⇒選んだ番組にマークが付きます。（最大16番組までマークを付けられます）

番組を選ぶ	ページを切り換える	マークを付ける／解除する
		

3 [決定]ボタンを押します。

⇒マークを付けた順に、番組が再生されます。



参考

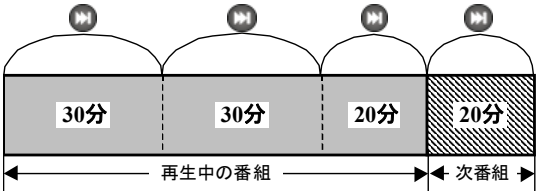
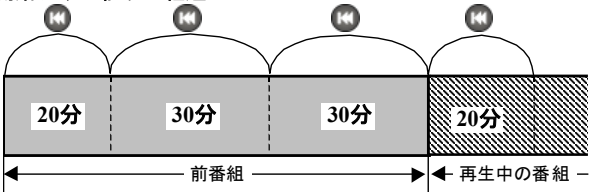
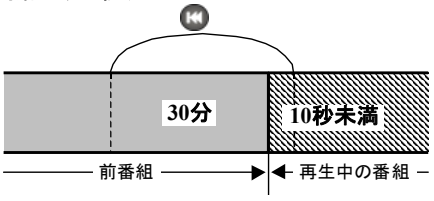
繰り返し再生

【機器設定】(38ページ)の「プログラム再生時の繰り返し設定」を［ON］にすると、繰り返し再生になります。

繰り返し再生になっているかどうかは、プログラム再生の情報部分右下に表示されます。

番組再生時の操作

番組再生中は専用リモコンのボタンを使って、操作を行うことができます。

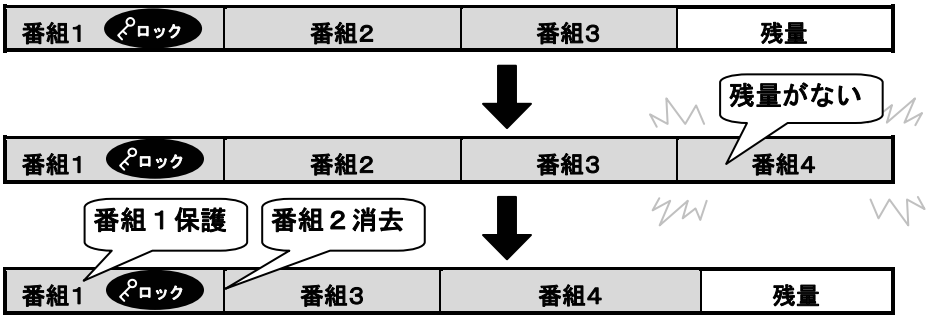
ボタン	説明
停止	番組の再生を停止します。
再生	停止したところから番組を再生します。 また、番組の一時停止／早戻し／早送りを解除します。
	前／後の番組に移動します。 ただし、それぞれの方向に30分以上その番組がある場合は30分スキップします。 ※ 前頭出しは、番組開始より10秒経過していない場合、前の番組を含めて移動します。 **次頭出し**  **前頭出し** **・番組開始より10秒以上経過**  **・番組開始より10秒以内** 
一時停止	番組の再生を一時停止します。
早戻し	番組を早戻しします。 早戻しのスピードについては、【機器設定】(38ページ)で設定します。
早送り	番組を早送りします。 早送りのスピードについては、【機器設定】(38ページ)で設定します。

番組を保護する[ロック]

番組を消されないようにすることを、「番組をロックする」と言います。

ロックの仕組み

番組をロックすると、その番組は消えなくなります。
消える順番が来た場合も、ロックされた番組はとばされます。



参考

小技:不要な番組を消去する

消去したい番組以外の全ての番組をロックしてください。
その上で録画を行うと、目的の番組を消去することができます。

番組をロック／解除する

1 Rec-POTメニュー「タイトルリスト」を表示します。

専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押します。

2 番組をロック／解除します。

番組を選び、専用リモコンの［ロック］ボタンを押します。
⇒選んだ番組がロック／解除されます。

番組を選ぶ	ページを切り換える	ロック／解除する
		

参考

番組をロックすると、ディスク残量が減ってしまいます

多くの番組をロックすると、Rec-POTメニュー「タイトルリスト」右下に表示されるディスク残量が少なくなります。ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能）

Rec-POTメニューの「機器設定」で設定します。
【機器設定】(38ページ)をご覧ください。

参考

番組をロックすると、ディスク残量が減ってしまいます

多くの番組をロックすると、Rec-POTメニュー「タイトルリスト」右下に表示されるディスク残量が少なくなります。ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

OFFにしても、すでにロックされた番組がロック解除されるわけではありません

オートロック機能のOFFと、すでにロックされた番組は関係ありません。
番組のロックを解除したい場合は、【番組をロック／解除する】(前ページ)または【全ての番組のロックを解除する】(本ページ下)の作業を行う必要があります。

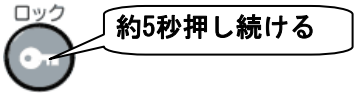
全ての番組のロックを解除する

1 本製品が再生／録画していないことを確認します。

本製品前面の再生／録画ランプを確認します。

2 [ロック]ボタンを約5秒押し続けます。

⇒ピーッと音がします。
全ての番組のロックが解除されました。



D-VHSビデオデッキに番組をダビングする

本製品から D-VHS ビデオデッキへのダビング操作は、Rec-POT メニュー「プログラム保存」で行います。

注意

先頭部分をダビングできない場合があります

D-VHSビデオデッキ側のテープスピードにより、先頭部分が録画されない場合があります。

参考

D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合

D-VHSビデオデッキからはダビング中の番組を見ることはできません。

D-VHSビデオデッキから本製品へのダビングはできません

本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオデッキに保存されている番組を本製品にダビングすることはできません。

1 Rec-POTメニュー「プログラム保存」を表示します。

① 専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押します。

② 専用リモコンの［メニュー切換］ボタンを１度押し、「プログラム」にします。
「プログラム保存」ではない場合は、「機器設定」の「プログラムモード時の動作」で［保存］を選んでください。 【機器設定】(38ページ)

2 D-VHSビデオデッキが「接続機器」として設定されているかを確認します。

Rec-POTメニューの情報にD-VHSビデオデッキが表示されていることを確認します。
また、D-VHSビデオデッキの電源が入っているかどうかも確認します。

注意

D-VHSビデオデッキがRec-POTメニューに表示されない

D-VHSビデオデッキの電源が入っているかどうかご確認ください。
また、【接続機器を設定する】(37ページ)をご覧になり、接続機器を設定してください。

3 ダビングしたい番組にマークを付けていきます。

番組を選び、専用リモコンの［マーク］ボタンを押します。
⇒選んだ番組にマークが付きます。（最大16番組までマークを付けられます）

番組を選ぶ	ページを切り換える	マークを付ける／解除する
		

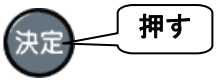
参考

ダビングできない番組

「著作権」が「コピー ×(△)」となっている番組はダビングできません。
移動のみ可能となります。【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(48ページ)をご覧ください。

4 ［決定］ボタンを押します。

⇒マークを付けた順に、番組がダビングされます。



参考

かかる時間は？

再生時間と同じだけかかりますので、ご了承ください。

D-VHSビデオデッキに番組を移動する

本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組移動操作は、Rec-POT メニュー「プログラム移動」で行います。

注意

先頭部分を移動できない場合があります

D-VHSビデオデッキ側のテープスピードにより、先頭部分が録画されない場合があります。

参考

移動とは？

Rec-POTメニューで著作権が「コピー ×(△)」となっている番組を、D-VHSビデオデッキに録画する方法です。ただし、本製品からその番組は消えてしまいます。

D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合

D-VHSビデオデッキからは移動中の番組を見ることはできません。

D-VHSビデオデッキから本製品への移動はできません

本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオデッキに保存されている番組を本製品に移動することはできません。

番組移動前の確認

注意

番組の移動に失敗すると、番組が消えてしまう、分割されてしまうなどの問題が発生します

番組を移動する際は、十分注意して作業を行ってください。

「CSデジタル」の番組の中には移動できないものがあります

スカイパーフェクトの「コピー ×(△)」となっている番組は、移動できません。

1 チューナーの確認をします。

チューナーの予約を全て削除してください。
番組の移動中に録画などの操作が行われると、番組の移動が途中で停止されます。

2 移動先(D-VHSビデオデッキ)の確認をします。

① 本製品、チューナー、移動先以外を全て取り外します。

② 本製品、移動先の予約を全て削除してください。
移動中に録画などの操作が行われると、番組の移動が途中で停止されます。

③ 接続しているi.LINKケーブルが破損したり、古くなったりしていないことを確認します。
i.LINKケーブルが劣化している場合、番組の移動に失敗するおそれがあります。

④ 移動先の電源が入っていることを確認します。

⑤ 移動先のテープ残量（ディスク残量）が十分にあることを確認します。
テープ残量が足りない場合、番組の移動に失敗してしまいます。

⑥【チューナーに登録する】(21ページ)の作業をしてください。

⑦ 移動先がD-VHSモードの本製品の場合は、オートロック機能を有効にしてください。

3 番組移動中の注意事項を確認します。

下記をお守りいただかないと、移動作業が中断され、データが失われるおそれがあります。

・番組の移動中に、他の機器の接続や電源のON/OFFを行わないでください。

・番組の移動中に、チューナー、接続機器、本製品の操作を行わないでください。

本製品からD-VHSビデオデッキへの番組移動操作

1 Rec-POTメニューを「プログラム移動」にします。

専用リモコンの［メニュー切換］ボタンを数回押し、「プログラム」にします。
「プログラム移動」ではない場合は、「機器設定」の「プログラムモード時の動作」で［移動］を選んでください。

2 D-VHSビデオデッキが「接続機器」として設定されているかを確認します。

Rec-POTメニューの情報にD-VHSビデオデッキが表示されていることを確認します。
また、D-VHSビデオデッキの電源が入っているかどうかも確認します。

注意

D-VHSビデオデッキがRec-POTメニューに表示されない

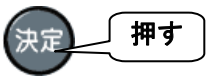
D-VHSビデオデッキの電源が入っているかどうかご確認ください。
また、【接続機器を設定する】(37ページ)をご覧になり、接続機器を設定してください。

3 移動したい番組にマークを付けていきます。

番組を選び、専用リモコンの［マーク］ボタンを押します。
⇒選んだ番組にマークが付きます。（最大16番組までマークを付けられます）

番組を選ぶ	ページを切り換える	マークを付ける／解除する
		

4 [決定]ボタンを押します。



⇒マークを付けた順に、番組が移動されます。

参考

かかる時間は？

再生時間と同じだけかかりますので、ご了承ください。

Memo

付録

全ての番組を消す.....52

困った時には.....53

Rec-POT メニューメッセージ.....55

仕様.....57

全ての番組を消す

本製品に記録されている全ての番組を消去します。

注意

ロックされている番組も消されます

全ての番組を消してよいかどうかご確認ください。

全ての番組を消す操作

1 本製品の電源を切ります。

【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

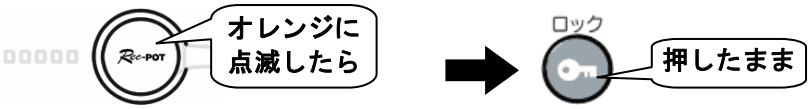
2 本製品をD-VHSモードに切り換えます。

【モードを切り換える】(16ページ)をご覧ください。

3 本製品の電源を入れます。

電源の入れ方については、【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

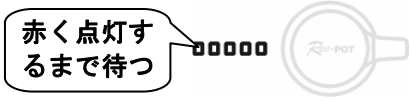
4 電源ランプがオレンジに点滅したら、[ロック]ボタンを押したままにします。



5 再生／録画ランプが赤⇔緑に点滅したら、[ロック]ボタンをはなします。

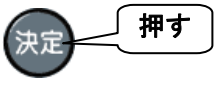


6 ステータスゲージが赤く点灯するまで待ちます。



7 [決定]ボタンを押します。

⇒全ての番組が消されます。



困った時には

本製品をお使いになり、問題が発生した場合にご覧ください。

電源が入らない

●電源コードは電源コンセントに接続されていますか？

電源コードを電源コンセントに接続してください。

操作できない

●電源ランプは点灯していますか？

電源コードを電源コンセントに接続してから、本製品が完全に起動する（電源ランプが青または紫に点灯）まで約20秒かかります。

専用リモコンで操作ができない

●専用リモコンの電池は消耗していませんか？

新しい電池と交換してください。 【電池を入れ替える】（20ページ）

●電池の極性（＋，－）は正しいですか？

電池を正しく入れてください。 【電池を入れ替える】（20ページ）

●本製品に向けて操作していますか？

本製品のリモコン受光部（電源ランプ）に向けて操作してください。

●ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？

本製品を２台お使いの場合は、製品ごとにユニット番号を設定します。
対応したユニット番号ボタンを押してから、操作してみてください。

●本製品はD-VHSモードですか？

ディスクモードでは専用リモコンを使えません。

専用リモコンの操作で２台動作してしまう

●ユニット番号を設定しましたか？

本製品を２台使う場合は、ユニット番号を機器設定で変更してください。【機器設定】（38ページ）

本製品に手を触れると熱い

●本製品はハードディスクの放熱のため、上面、側面および背面は温度が高くなります。

品質、性能には問題ありません。
本製品を風通しの良い場所に設置してください。
また、本製品の上に物を置いたり、他の機器の上に本製品を置いたりしないでください。

録画ができない

●i.LINK ケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●コピーガードされた番組を録画しようとしていませんか？

コピーガードされた番組は録画できません。チューナーのメールをご覧ください。

●チューナーに本製品を登録・認識していますか？

【チューナーに登録する】(21ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
また、チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。
チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。

Rec-POTメニューが表示されない

●ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？

本製品を２台お使いの場合は、製品ごとにユニット番号を設定します。
対応したユニット番号ボタンを押してから、操作してみてください。

●i.LINK ケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●チューナーに本製品を登録していますか？

【チューナーに登録する】(21ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。

●番組を録画していませんか？

番組の録画中に専用リモコンでの操作はできません。

●チューナーの電源は入っていますか？

Rec-POTメニューはチューナーの機能を使って番組として表示されます。
本製品を使うときは、チューナーの電源を入れてください。

ダビングできない

●i.LINK ケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●D-VHS ビデオデッキは接続機器として設定されていますか？ (D-VHS モード)

D-VHSビデオデッキを接続機器として設定していないと、ダビングは行えません。

【接続機器を設定する】(37ページ)

●接続機器として本製品に設定していますか？

Rec-POTメニューの接続機器設定(36ページ)でその機器を接続機器として設定してください。

●ダビングしようとした番組はコピー可能な番組ですか？

Rec-POTメニューの「著作権」が「コピー ×(△)」の番組はダビングできません。
必要ならば、移動の操作を行ってください。 【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(48ページ)

Rec-POTメニューメッセージ

Rec-POT メニューで表示されるメッセージと、その意味を説明します。

録画された番組がありません。

本製品に番組が記録されていません。

メニューデータのロックは解除できません。

「メニューデータ」のロックを解除しようとしたときに表示されます。
「メニューデータ」はRec-POTメニューを表示するためのデータですので、ロックの解除はできません。

マークできる番組は 16 個までです。

マークできる最大数16個を超えてマークしようとしたときに表示されます。

マークされた番組がありません。

番組を１つもマークせずに、［決定］ボタンを押したときに表示されます。

再生(PLAY)を開始しました。

プログラム再生を開始したときに表示されます。

保存(COPY)を開始しました。

プログラム保存を開始したときに表示されます。

移動(MOVE)を開始しました。

プログラム移動を開始したときに表示されます。

マークされた番組にコピー禁止の番組が含まれています。

プログラム保存を開始したときに、コピー×やコピー△の番組が含まれていた場合に表示されます。

機器リストがまだ取得できていません。

プログラム保存/移動を開始したとき、まだ機器リストが取得できていない場合に表示されます。
しばらくお待ちになってから、再度開始してください。

保存先が選択されていません。

プログラム保存/移動を開始したとき、接続機器がまだ設定できていないか、見つからないときに表示されます。【接続機器を設定する】(37ページ)をご覧になり、設定を行ってください。

保存先の電源が入っていません。

プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキの電源が入っていない場合に表示されます。

テープが入っていないか、書き込み保護されたテープです。

プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキにテープが入っていないか、テープに書き込むことができない場合に表示されます。

保存先が動作中です。

プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキが動作している場合に表示されます。

他の機器がすでに使用中です。

プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキが他の機器（チューナーなど）に使われている場合に表示されます。

保存先の録画動作を開始できませんでした。

プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキが本製品からの命令を受け付けない場合に表示されます。

コピー ○の番組は、プログラム再生中に他の機器で録画することにより保存してください。

コピー ×および△の番組は、D-VHSビデオデッキに対して保存および移動を行えません。

移動できない番組が含まれているため、移動(MOVE)を開始できません。

プログラム移動を開始したとき、マークした番組の中に移動できない番組が含まれていた場合に表示されます。

ロックされた番組が含まれているため、移動(MOVE)を開始できません。

プログラム移動を開始したとき、マークした番組の中にロックされた番組が含まれていた場合に表示されます。

警告：バスリセット発生のため、保存(COPY)に失敗した可能性があります。

警告：バスリセット発生のため、移動(MOVE)に失敗した可能性があります。

前回のプログラム保存/移動中にバスリセットが発生し、保存/移動に失敗した可能性があります。

【番組移動前の確認】(48ページ)をご覧になり、問題が発生しないようにご注意ください。

警告：保存先の停止のため、保存(COPY)に失敗した可能性があります。

警告：保存先の停止のため、移動(MOVE)に失敗した可能性があります。

前回のプログラム保存/移動中に、接続機器の電源が切られたり、D-VHSビデオデッキが停止された場合に表示されます。

保存(COPY)が中断されました。

移動(MOVE)が中断されました。

プログラム保存/移動中に、専用リモコンの［停止］ボタンを押した場合に表示されます。

仕様

製品名	デジタルハイビジョン対応 ハードディスクレコーダー Rec-POT
型式	HVR-HD160M
HDD容量	160G バイト
インターフェイス	i.LINK(2 系統)　4 ピン S400 DTCP 対応
対応ストリーム	MPEG2-TS
ストリーム処理能力	HD ストリーム対応(28.3Mbps)
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	動作時　12W 待機時　5W
外形寸法	280(W) × 200(D) × 35(H) mm ※ ゴム脚部を除く
質量	約 1.9kg
環境条件	温度 動作範囲　5～35℃ 保存範囲　-20～60℃ 湿度 動作範囲　20%～80%（結露のないこと） 保存範囲　5%～90%（結露のないこと）

索引

A－Z

D-VHSモード 16
　～で使う 29
i.LINK
　～端子 11
Rec-POTメニュー
　～の種類 31
　～を表示／切換／閉じる 30
　タイトルリスト 32
　プログラム再生/保存/移動 34
　接続機器設定 36
　機器設定 38
　～メッセージ 55

あ行

明るさボタン 12
移動
　番組を～する（ディスクモード） 28
　番組を～する（D-VHSモード） 48
オートロック 45
音
　操作～のON／OFF → ユニットボタン ... 12

か行

機器設定 38
繰り返し再生 38

さ行

再生
　1つの番組を～する 41
　番組～時の操作 43
　複数の番組を連続～する 42
仕様 57
ステータスゲージ 10
接続機器設定 36
接続する 17
設置する 18
設定
　機器～ 38
　接続機器～ 36
専用リモコン
　～の各部の名称 12
　～の電池について 20
　～を準備する 20
　～操作可能範囲 18
操作音
　～をON／OFFする → ユニットボタン 12

た行

待機状態 19
タイトルリスト 32
ダビング
　番組を～する（ディスクモード） 27
　番組を～する（D-VHSモード） 46
チューナー
　～に登録する 21
　～対応モード ..... 別紙の対応表
ディスク残量 10
ディスクモード 16
　～で使う 23
電源
　～スイッチ 11
　～ボタン 12
　～ランプ 10
　～を入れる 19
　～状態 19

は行

番組
　～を録画する（ディスクモード） 24
　～を録画する（D-VHSモード） 40
　～を再生する（ディスクモード） 26
　～を再生する（D-VHSモード） 41
　～を保護（ロック）する 44
　全ての～を消す 52
プログラム再生/保存/移動 34
　番組をプログラム再生する 42
　番組をダビングする 46
　番組を移動する 48

ま行

マーク 35
メッセージ → Rec-POTメッセージ 55
メニュー → Rec-POTメニュー
モード
　～を切り換える 16
　D-VHS～で使う 23
　ディスク～で使う 29
　～スイッチ 11

や行

焼け付き防止 → メニュー画面オートOFF ... 38
ユーザー登録 ... 9

ら行

リモコン → 専用リモコン
録画
　番組を～する（ディスクモード） ... 24
　番組を～する（D-VHSモード） ... 40
　～の仕組み（ディスクモード） ... 24
　～の仕組み（D-VHSモード） ... 40
ロック
　オート～ ... 45
　～ボタン ... 12
　～の仕組み ... 44
　番組を～する ... 44
　番組の～を解除する ... 44
　全ての番組の～を解除する ... 45

ご意見・ご質問はこちら

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターで受け付けています。

電話

■ 電話番号　金沢（本社）　076-260-3646
　　東京　　03-3254-1036

■ 受付時間　9:30 ～ 19:00（土・日曜／祝祭日は除く）

FAX

■ FAX番号　金沢（本社）　076-260-3360
　　東京　　03-3254-9055

インターネット

インターネットをご覧いただける場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

■ ホームページ　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項

1. お使いのチューナー名。
2. 他にお使いになっているi.LINK機器。
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
　（画面の表示やメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■ 内部のデータについて

・検査の際に、内部のデータは全て消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

■ お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■ 修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■ メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■ これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

■ 修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■ 修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- “AVHDD”は、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HVR-HD160M 取扱説明書
2004.03.24 149374-01
発 行 株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.